

<小児がん対策国民会議 2022 年度事業報告書、決算書>

小児がん対策国民会議 2021 年 7 月 1 日設立

活動	回数	日程
運営委員会開催	6 回(メール審議含め)	①2022/05/31、②2022/8/22、③2022/11/11、 ④2022/12/06 (メール審議)、⑤2023/01/13、⑥2023/3/10
薬剤 WG	9 回	① 2022/04/22、②2022/5/20、③2022/6/17、④2022/7/15、 ⑤2022/9/30、⑥2022/10/28、⑦2023/01/13、⑧2023/02/17、 ⑨2023/03/17 この他に学会シンポジウムのための意見交換会 2022/10/21、打ち合わせ 2022/11/18 を各 1 回行った。
教育 WG	11 回	①2022/04/07 ②2022/4/28、③2022/05/23、④2022/6/7、 ⑤2022/8/19、⑥2022/10/6、⑦2022/11/18、⑧2022/12/12、 ⑨2023/1/26、⑩2023/2/7、⑪2023/3/2 その他に日本癌学会打ち合わせ会 2022/8/31、2022/9/22、第 4 期がん対策推進計画要望書提出 4 団体による打ち合わせ(学習会) 2022/10/12、2022/12/23、シンポジウム打ち合わせ 2023/03/13
執行部会議	7 回	①2022/5/2、②2022/6/14、③2022/8/22、④2022/10/7 ⑤2022/11/4、⑥2023/1/10、⑦2023/3/3

●2022 年度の国民会議は HP を立ち上げ、大きな広報ツールの運用を開始。運営も執行部会で提案し、運営委員会にて検討承認というスタイルが定着。軌道に乗った。

薬剤開発ワーキンググループ、教育支援ワーキンググループも各々活発に活動が出来た年となった。

薬剤開発ワーキンググループは議員への働きかけ、勉強会、署名活動等を経て、国民会議設立 1 周年を記念した薬剤開発シンポジウム「小児がんの薬剤開発の現状 - 国民会議の目指すところ -」を 2022/8/5 に開催した。第 65 回日本小児血液・がん学会学術集会 (2022/11/27)、超党派議連「国会がん患者と家族の会」勉強会 (2022/12/23)、第 3 回小児製剤研究会 (2023/2/3) などにおいて WG メンバーが演者となり発表を行った。海外との連携では 11th ACCELEATE PEDIATRIC ONCOLOGY ANNUAL CPNFERENCE (2023/2/9-10) において、小児がん対策国民会議 (N3C) の紹介を行い今後の国際連携について相談した。また、3 カ月の取材協力を通じた NHK の放映、プレゼン機会も得られた。

教育支援ワーキンググループは第 4 期がん対策推進計画に向けての提言書やパブリックコメントを厚労省、文科省への提出、第 81 回日本癌学会学術総会のランチョンセミナー(2022/10/01)や、第 26 回日本育療学会学術集会シンポジウム (2022/12/10)での発表。また 4 団体による学習会の開催(2023/01/09)や、「小児・AYA 世代がん患者の切れ目のない教育の実現のために～各地域での先駆的な取り組みから～」シンポジウムの開催(2023/03/25)を行った。

●2022 年度決算について

項目	概要	入金	出金
立替金	守る会より HP 立ち上げ作成費用	¥200,000	¥200,000
寄付金	述べ 15 名様よりご寄付をいただいた	¥281,000	
広報費	HP の立ち上げ、サーバードメイン更新料		¥171,519
雑費	振込手数料		¥550
謝金	3/25 シンポジウム謝金(3 名分)		¥30,000
旅費交通費	3/25 シンポジウム交通費(3 名分)		¥69,020
		¥481,000	¥471,089

2023/3/31 残高	¥9,911
--------------	--------